

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 マルイチ産商

コード番号 8228 URL <http://www.maruichi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 榊原 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 企画・管理部門 (氏名) 井崎 俊彦

TEL 026-285-4101

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	36,675	△4.4	41	—	159	57.7	87	80.0
21年3月期第1四半期	38,352	—	△17	—	101	—	48	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	3.82	—
21年3月期第1四半期	2.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	34,119	15,688	46.0	680.46
21年3月期	33,504	15,522	46.3	673.24

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 15,688百万円 21年3月期 15,522百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		2.00	—	3.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	79,163	0.8	166	△20.8	349	△13.4	209	△40.1	9.06
連結累計期間	160,125	1.4	621	5.8	962	2.1	575	△12.0	24.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	23,121,000株	21年3月期	23,121,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	64,636株	21年3月期	64,523株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	23,056,423株	21年3月期第1四半期	23,067,786株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページの【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における食品流通業界を取り巻く環境は、昨年来の景気低迷に伴う消費者の節約志向がますます高まり、小売業界における低価格競争は一層激しさを増すなど、厳しい経営環境が続きました。

このような中、当社グループにおきましては、引き続き業務改善によるコスト削減を進めるとともに、2年目となる中期経営計画「プラン2010」により、フルライン（水産品・デイリー食品・一般食品・畜産品）における生産から消費に至るSCMを更に進化させ、顧客ソリューションと商品調達力・開発力を付加した、当社ならではの成長収益モデルを構築してきました。

この結果、当第1四半期の売上高につきましては、一般食品と畜産品については、内食回帰に伴い比較的堅調に推移しましたが、魚価の低迷に伴う水産品の売上不振により、売上高は、366億75百万円（前年同期比4.4%減少）と減収となりました。一方、利益面につきましては、業務改善の継続による人件費、一般管理費等のコスト削減を推進したことから、営業利益41百万円（前年同期は17百万円の営業損失）、経常利益1億59百万円（前年同期比57.7%増加）、四半期純利益87百万円（前年同期比80.0%増加）と増益を確保しました。

【セグメント別の概況】

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

売上高 247億65百万円（前年同期比6.7%減）

営業損失 1億22百万円（前年同期は27百万円の営業損失）

売上高につきましては、昨年10月以降の水産物の消費不振に加え、価格競争がさらに激化し、魚価は昨年と比較して大幅に下落しました。この結果、鮮魚の一部の商品群では数量ベースでは昨年を上回ったものの、冷凍魚においては数量・販売額ともに減少し、売上高は前年同期より減少しました。

利益面においても、売上の減少と販売価格の低下により利益額が減少し、業務改善によるコスト削減は進めたものの、営業利益は前年同期に対して95百万円の減益となりました。

<一般食品事業セグメント>

売上高 68億63百万円（前年同期比0.2%増）

営業利益 17百万円（前年同期は51百万円の営業損失）

売上高につきましては、消費者の節約志向の高まりによる内食関連商材の需要が喚起され、調味料を中心に堅調な動きで推移しました。また、重点取引先であるリージョナル・ローカルチェーンに対して、地域の食生活に合致した提案営業をさらに進め、取引拡大を継続して図ることができました。

利益面においては、粗利益率が改善したことに加え、前期より実施してきました事業構造改革による固定費の削減効果もあり、営業利益は前年同期に対して69百万円の大幅な増益となりました。

<畜産事業セグメント>

売上高 49億84百万円（前年同期比1.9%増）

営業利益 1億6百万円（前年同期比199.4%増）

売上高につきましては、当社グループの流通加工機能を活かした豚肉の売上拡大や信州牛を中心に国産牛の売上が回復し、在庫過剰による相場下落の影響をうけた鶏肉は厳しい推移となりましたが、セグメントトータルでは前年に対して増収となりました。

利益面においては、粗利益率が大幅に改善したことに加え、業務改善による経費削減が進んだことにより、営業利益は前年同期に対して71百万円の増益となりました。

<その他事業セグメント（物流事業、小売店支援事業、冷蔵庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

売上高 61百万円（前年同期比7.0%減）

営業利益 40百万円（前年同期比50.9%増）

顧客支援の機能として展開するリテールサポート事業部の物流事業及び小売店支援事業においては、総合力強化に向けたグループ内での連携強化を図った結果、営業利益は前年同期に対して13百万円の増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、341億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億15百万円の増加となりました。主な要因としては、流動資産は「現金及び預金」が1億15百万円、「商品及び製品」が1億76百万円増加したこと等により、4億19百万円増加し、181億71百万円となりました。固定資産は「投資有価証券」が2億31百万円増加したこと等により、1億96百万円増加し、159億48百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末と比較して、4億49百万円増加して184億31百万円となりました。流動負債は、「支払手形及び買掛金」が6億99百万円増加したこと等により3億75百万円増加し、168億49百万円となりました。固定負債は74百万円増加し、15億81百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億66百万円増加して156億88百万円、自己資本比率は46.0%となり、前連結会計年度末とほぼ同水準を維持しております。

（連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は30億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億15百万円の増加となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ16百万円減少し、3億64百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1億66百万円となり、仕入債務が6億55百万円（売上債権増加見合分控除後）増加する一方で、法人税の支払額が4億2百万円となったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ44百万円減少し、94百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得が76百万円、無形固定資産の取得が16百万円となったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、前年同四半期に比べ88百万円増加し、1億54百万円となりました。これは主に、配当金の支払額86百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期は、中期経営計画に基づく事業構造改革に向けた諸施策について順調に進捗しており、当第1四半期の業績も、ほぼ計画通りの推移となっていることから、現時点において、平成21年5月12日発表しました通期業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,056	2,941
受取手形及び売掛金	10,908	10,864
商品及び製品	2,586	2,410
仕掛品	7	6
原材料及び貯蔵品	61	55
その他	1,761	1,693
貸倒引当金	△211	△219
流動資産合計	18,171	17,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,656	4,712
土地	7,440	7,440
その他(純額)	462	372
有形固定資産合計	12,559	12,526
無形固定資産		
	220	238
投資その他の資産		
投資有価証券	2,454	2,223
その他	784	834
貸倒引当金	△70	△70
投資その他の資産合計	3,167	2,986
固定資産合計	15,948	15,751
資産合計	34,119	33,504
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,724	12,024
短期借入金	1,500	1,500
1年内返済予定の長期借入金	161	193
未払法人税等	149	419
賞与引当金	195	568
役員賞与引当金	—	11
その他	2,118	1,756
流動負債合計	16,849	16,474
固定負債		
長期借入金	125	152
退職給付引当金	348	319
役員退職慰労引当金	289	281
債務保証損失引当金	304	304
その他	513	449

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債合計	1,581	1,507
負債合計	18,431	17,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	8,633	8,637
自己株式	△52	△52
株主資本合計	15,681	15,685
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7	△163
評価・換算差額等合計	7	△163
純資産合計	15,688	15,522
負債純資産合計	34,119	33,504

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	38,352	36,675
売上原価	34,114	32,743
売上総利益	4,237	3,932
販売費及び一般管理費	4,254	3,890
営業利益又は営業損失(△)	△17	41
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	47	47
受取賃貸料	42	40
負ののれん償却額	1	—
完納奨励金	9	8
その他	26	27
営業外収益合計	126	124
営業外費用		
支払利息	7	5
その他	0	0
営業外費用合計	8	5
経常利益	101	159
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	8
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	0	9
特別損失		
固定資産除却損	0	3
投資有価証券評価損	0	0
その他	0	—
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	100	166
法人税、住民税及び事業税	91	145
法人税等調整額	△41	△67
法人税等合計	50	78
少数株主利益	1	—
四半期純利益	48	87

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	100	166
減価償却費	138	139
のれん償却額	△1	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△206	△336
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△11
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△29	29
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4	8
受取利息及び受取配当金	△47	△47
支払利息	7	5
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
固定資産除却損	0	3
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	△440	△44
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△324	△183
仕入債務の増減額 (△は減少)	883	699
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	22	△22
その他の負債の増減額 (△は減少)	351	319
その他	2	3
小計	461	720
利息及び配当金の受取額	49	49
利息の支払額	△7	△6
法人税等の支払額	△125	△402
法人税等の還付額	3	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	381	364
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56	△76
有形固定資産の売却による収入	1	0
有形固定資産の除却による支出	△1	△0
無形固定資産の取得による支出	△57	△16
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	—	1
貸付金の回収による収入	0	0
定期預金の預入による支出	△0	—
その他	△21	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139	△94

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△62	△58
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△86
その他	△1	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65	△154
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	176	115
現金及び現金同等物の期首残高	1,653	2,935
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,830	3,050

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	水産事業 (百万円)	一般食品事 業 (百万円)	畜産事業 (百万円)	その他の事 業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売 上高	26,544	6,849	4,891	66	38,352	—	38,352
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	274	276	(276)	—
計	26,544	6,851	4,891	340	38,628	(276)	38,352
営業利益又は営業損失 (△)	△27	△51	35	26	△17	—	△17

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	水産事業 (百万円)	一般食品事 業 (百万円)	畜産事業 (百万円)	その他の事 業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売 上高	24,765	6,863	4,984	61	36,675	—	36,675
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	433	433	(433)	—
計	24,765	6,863	4,984	495	37,109	(433)	36,675
営業利益又は営業損失 (△)	△122	17	106	40	41	—	41

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間における本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間における海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。